

1. 経 済 動 向

記事提供：一般財団法人 建設物価調査会 北陸支部

新潟県内の景況について

新潟県鉱工業指数をみると、29年9月の生産指数は103.0で、前月比1.6ポイント低下した。業種別にみると、はん用・生産用・業務用機械工業、鉱業、化学工業等7業種が低下し、その他工業、電気機械工業、鉄鋼業等9業種が上昇した。出荷指数は103.5で、前月比2.1ポイント低下した。これは、はん用・生産用・業務用機械工業、金属製品工業、化学工業等8業種が低下し、その他工業、食料品工業、電気機械工業等8業種が上昇したことによる。また、在庫指数は126.7で前月比2.2ポイント低下した。

29年9月の有効求人倍率は1.52倍（全国平均1.52倍）で前月より0.01ポイント上昇した。新規求人数を主要産業別にみると、建設業、製造業、運輸業、郵便業、卸売業・小売業、宿泊業、飲食サービス業、生活関連サービス業、娯楽業等で増加し、医療、福祉、サービス業等で低下した。県内の雇用情勢は着実に改善が進んでいる。

29年9月の新潟市消費者物価指数は、総合で101.1となり前月比0.5ポイント上昇し、前年同月比は1.1ポイント上昇した。前月からの動きをみると「教養娯楽」が教養娯楽サービス等の値下がりにより1.4ポイント低下したものの、「食料」が魚介類等の値上がりにより1.8ポイント上昇した結果、総合で前月に比べ0.5ポイント上昇した。

富山県内の景況について

富山県鉱工業生産の動きをみると、29年9月の生産指数は105.2と前月比0.8ポイント低下となり、3ヵ月連続で低下した。これは13業種中、鉄鋼業、電気機械工業、その他工業等5業種が低下したことによる。なお、上昇した業種は化学工業、はん用・生産用・業務用機械工業、プラスチック製品工業等8業種である。また、在庫指数は126.2と前月比1.9ポイント低下となり、2ヵ月ぶりに低下した。これは13業種中、化学工業、電気機械工業等8業種が低下したことによる。なお、上昇した業種は金属製品工業、はん用・生産用・業務用機械工業等5業種である。

29年9月の有効求人倍率は1.85倍で前月と同水準となった。新規求人数は前年同月比、5ヵ月連続で増加し、有効求人数は19ヵ月連続で増加した。主要産業別にみると、建設業、製造業、卸売業、小売業、生活関連サービス業、娯楽業、医療、福祉、サービス業等で増加し、運輸業、郵便業、宿泊業、飲食サービス業等で低下した。雇用情勢は着実に改善している。

29年9月の富山市消費者物価指数は、総合で100.3となり前月比同水準。前月からの動きを見ると、「食料」等が上昇したものの、「教養娯楽」等が低下したため、総合指数の前月比は同水準。また、前年同月比は「食料」、「光熱・水道」等が上昇したため、総合で0.5ポイント上昇した。

石川県内の景況について

石川県鉱工業指数をみると、29年9月の生産指数は140.3と前月比13.6ポイント低下した。これは生産用機械工業等が増加したものの、情報通信機械器具・電子部品・デバイス工業、輸送機械工業等が低下したためである。なお、化学工業は3ヵ月連続の低下、繊維工業は2ヵ月ぶりの低下となった。出荷指数は前月比12.1ポイント低下し148.4となり、2ヵ月ぶりの低下となった。また、在庫指数は102.9で前月比11.6ポイント低下した。

29年9月の有効求人倍率は1.84倍で前月に比べ0.02ポイント低下した。新規求人数は前年同月比10.9ポイント増加した。主要産業別にみると、建設業、製造業、情報通信業、運輸業・郵便業、卸売業・小売業、宿泊業・飲食サービス業、医療・福祉、サービス業等が前年同月比で増加し、教育・学習支援業、複合サービス事業等で低下した。県内の雇用情勢は、着実に改善が続いている。

29年9月の金沢市消費者物価指数は、総合で100.9となり前月比同水準。これは「被服及び履物」、「食料」等が上昇、「教養娯楽」等が低下し、同水準。また、前年同月比は「住居」、「光熱・水道」等が上昇し、総合で1.2ポイント上昇した。

※ 上記は、平成29年9月時点での経済活動である。

主要経済動向指標（北陸地方3県の比較）

項目・ 県別 年度区分			鉱工業生産動向指数(季節調整済) [平成22年=100]								
			生 産			出 荷			在 庫		
			新 潟	富 山	石 川	新 潟	富 山	石 川	新 潟	富 山	石 川
28 年 度	Ⅲ	10月	96.8	105.8	134.7	98.8	-	137.6	124.5	125.4	109.8
		11月	98.2	107.4	141.2	99.4	-	141.5	120.7	125.9	114.5
		12月	99.4	107.0	136.7	99.6	-	136.7	122.0	124.1	127.9
	Ⅳ	1月	99.8	106.2	136.6	99.6	-	139.7	121.4	126.4	119.3
		2月	99.0	108.1	142.4	99.2	-	149.6	120.9	126.9	123.4
		3月	103.0	110.8	139.0	100.6	-	141.2	126.7	124.0	121.2
29 年 度	Ⅰ	4月	104.9	118.7	137.6	103.7	-	143.4	125.6	127.5	121.8
		5月	103.4	108.1	131.3	100.2	-	135.5	129.5	128.0	119.2
		6月	105.2	112.7	144.7	104.1	-	147.6	131.1	128.5	121.2
	Ⅱ	7月	102.5	107.3	141.8	103.2	-	144.9	128.0	127.1	117.3
		8月	103.0	106.1	162.3	103.5	-	168.8	126.7	128.7	116.4
		9月	P 101.4	P 105.2	P 140.3	P 101.3	-	P 148.4	P 123.9	P 126.2	P 102.9
資料出所			県統計課								

項目・ 県別 年度区分			有効求人倍率			消費者物価指数		
			(季節調整済)			[平成27年=100]		
			新 潟	富 山	石 川	新 潟(市)	富 山(市)	金 沢(市)
28 年 度	Ⅲ	10月	1.35	1.63	1.64	100.6	100.4	100.1
		11月	1.35	1.65	1.67	100.4	100.4	100.3
		12月	1.35	1.66	1.68	100.2	100.1	100.1
	Ⅳ	1月	1.37	1.71	1.76	100.3	100.4	99.9
		2月	1.41	1.70	1.80	100.2	100.2	100.0
		3月	1.43	1.75	1.82	100.0	100.3	100.0
29 年 度	Ⅰ	4月	1.48	1.76	1.86	100.4	100.7	100.6
		5月	1.51	1.78	1.90	100.5	100.6	101.0
		6月	1.53	1.83	1.92	r 100.5	100.1	100.8
	Ⅱ	7月	1.52	1.83	1.88	100.2	100.1	100.5
		8月	1.51	1.85	1.86	100.6	100.3	100.8
		9月	P 1.52	P 1.85	P 1.84	P 101.1	P 100.3	P 100.9
資料出所			労働局職業安定課			県統計課		

(注) ・Pは速報値を示し、rは修正値を示す。

・各指標は速報値を含み年度修正が行われるため、先の公表分と異なる場合がある。